

提言のポイント

新設施設の地震対策への提言

管路施設の埋戻し部の液状化対策

埋戻し土を締固め度90%程度以上に締固め
 平均粒径10mm以上かつ10%粒径1mm以上の砕石による埋戻し
 セメントやセメント固化剤による埋戻し土の固化

「重要な幹線等」の定義の見直し

「重要な幹線等」の定義に、交通障害による影響が大きい道路下の管路を追加

処理場・ポンプ場の継ぎ手対策

水槽内には伸縮継ぎ手を設けない
 配管は可とう性の大きな継ぎ手を設ける

既存施設の地震対策への提言

1. 下水道地震対策の基本的考え方

防災と減災

「防災」と「減災」による総合的な地震対策の実施

「生命を守る」という観点から下水道が有すべき機能を整理

公衆衛生の確保、浸水被害の防除、トイレの使用の確保、応急対策活動の確保

時間軸と対策施設を考慮した防災・減災目標の設定

緊急（5年程度）、中期（10年程度）及び長期（改築・更新時期）の段階的な防災目標

緊急の目標としては、

- ・ 処理場と重要な防災拠点をつなぐ管路の流下機能の確保
- ・ 緊急輸送路等下の管路被災による重大な交通障害の防止
- ・ 処理場の揚排水・沈殿処理・消毒処理機能の確保
- ・ 雨水ポンプ場の揚排水機能の確保
- ・ 防災拠点におけるトイレの使用の確保（マンホールトイレ）

被害を最小限に抑制するための減災目標（被災時の暫定的対応）

2. 下水道地震対策の促進に向けた取り組み

耐震診断・被害予測の実施

下水道地震対策計画の策定

緊急の目標を達成するための下水道緊急地震対策計画（アクションプラン）の策定
 減災目標を達成するための下水道減災対策計画の策定

具体的な対策例の提示

下水道施設・資源の活用による地震に強いまちづくりへの貢献

地域防災と連携した下水道施設の防災拠点化の推進（ヘリポート、避難施設等の整備）

国の支援による重点的かつ緊急的な地震対策

「選択と集中」の考え方による財政的な支援措置
 学会等とも連携した技術開発